



令和6年 (2024年) スタート 大晦日と正月

みなさん、明けましておめでとうございます。良い新年を迎えることができましたか。大晦日に除夜の鐘を聴いたでしょうか。「除夜」というのは、大晦日の夜の事。一年の最後の日に、古いことを除き去り、新年を迎えるために、「除夜の鐘」を鳴らします。鐘を打つ数は、108回です。なぜその回数か、理由は諸説ありますが、仏教の世界では人には108の煩惱があると考えられてきました。煩惱とは人の心を惑わせたり、悩ませたりする心の働き(心の乱れ、汚れ)をいいます。108回鐘を鳴らすことで、煩惱を祓うことができると考えられてきました。(例えば「四苦(4×9)」「八苦(8×9)」を足すと108など)本来は、厳しい修行を積んだ人が、煩惱を払うことによって、悟りを開くことができるという意味があるのですが、私たちのように修行を積んでいなくても、心の乱れや汚れを祓う力があると信じられているため、今でも続いているのです。これがまさに煩惱の仕業です。自分の煩惱に悩んでいる人も、着実に歩みを進めてきた人も、大晦日に煩惱を祓い、新年の初めに、リセットし、もう一度自分を見つめ、仲間とつながりを振り返り、「良くなりたい自分」を前に押し出してスタートできる。そんな力が除夜の鐘にはあるというんです。

また、正月の「正」という漢字には、「あらたまる、きちんと」という意味があります。「正月」とは「あらたまることができる月」です。古来より、日本人はそうやって年の初めを節目とし、自らを振り返りながら次のステップを見つめ歩んできたんです。



いよいよ受験！頑張れ3年生 南中学校の全教職員が応援しています 1・2年生も更なる成長に期待！

1月から3月は、1年の締めくくりです。さらに良くなるチャンスがあるということです。3年生は受験に向け、自分の力を発揮できるよう、2年生は学校の中心として学校を引っ張る責任と立場を自覚し、1年生は入学してくる後輩に1年生の力を見せられるよう、今まで、積み重ねてきた力をいかしてほしいと思います。その力はあるはず。そして、人間として大切なこと、たとえば、仲間を大切にするとか、物を大事にするとか、時間を大切にするとか、そんなことが自然に身に付き、あたりまえにできる。みんなの良くなりたい気持ちを大切にできるようにしてほしいと願っています。



令和6年 南中生28名 みんな仲良く力を合わせて頑張ります



(今月) 1月の学校公開日
 1月23日(火)
 終日授業公開です、是非ご参加ください

【お知らせ】
 校舎内に掲示してあるQRコードから、学校公開アンケート(Forms)を開き、参観後に簡単なアンケートへご協力をお願いします。